



アクリル酸エステル系ポリマー 「PARACRON」 総合カタログ

本資料の記載内容は、現時点で入手できた資料・データに基づいていますが、物理的、化学的性質、危険、有害性等に関して保証するものではありません。また、本製品の使用にあたっては、用途に対応する法規制、および用途への適合性・安全性等を試験、確認下さい。
本資料の数値は代表値であり、保証値ではございません。 本資料の著作権は根上工業に帰属します。転記・転載を禁止します。

目次

1. PARACRONの概要
2. PARACRONの特徴
3. 各国法令対応表

1. PARACRONの概要

特徴

懸濁重合技術を中心に合成される熱可塑性アクリル樹脂です。
耐候性、透明性に優れて、各種溶剤やモノマーに溶解可能です。
PARACRONは軟質（低T_g）グレードで、溶剤等に溶解した状態で供給されます。

用途

PARACRONは、粘着剤、エポキシ樹脂改質剤、繊維コーティング剤などに使用されています。

2. PARACRONの特徴

2-1 低Tgグレード

品番	パンロン S-2012	AS-3000E	ME-2000
Tg(°C)	-60	-36	-35
Mw	900,000	650,000	600,000
官能基 KOHmg/g	-OH 6.5	-OH 8.5	-COOH 20
固形分	34.5	30	20
粘度	22,000	40,000	3,500
溶剤	トルエン	トルエン/酢酸エチル =9/1	酢酸エチル

※ 記載数値は参考値

特徴: 軟質、粘着性、透明性

用途: 粘着剤(特に再剥離用途)、繊維コーティング剤

粘着特性

品番	パンロン S-2012	AS-3000E	ME-2000
接着力(SUS) N/25mm	10.0	7.5	10.5
保持力 40°C, 1kg, 24h	20分落下	ずれ無し	ずれ無し
ボールタック	24	12	2未満

※ 記載数値は参考値

※25μmPET基材に膜厚25μmで塗工、110°C×5分乾燥後、室温で1日熟成

※架橋剤として東ソー製コロネートLを対樹脂1%使用して測定

2. PARACRONの特徴

2-2 中～高Tgグレード

品番	W-116.3	W-248E	W-197C	プレコート 200
Tg(°C)	-22	7	18	85
Mw	900,000	450,000	400,000	600,000
官能基 KOHmg/g	-COOH -OH 7.8 1.1	-OH 8.5	-OH 8.5	なし
固形分	12.5	30	35	20
粘度	2,000	40,000	48,000	12,000
溶剤	トルエン /MEK=43/57	トルエン/酢酸 エチル=9/1	トルエン	トルエン/酢酸 エチル=3/1

※ 記載数値は参考値

特徴: 中～硬質、透明性

用途: 接着剤、繊維コーティング剤

2. PARACRONの特徴

2-3 エポキシ基(グリシジル基)含有グレード

品番	KG-115
Tg(°C)	-4
Mw	650,000
エポキシ当量	2,900
固形分	15
粘度	500
溶剤	MEK
エポキシ樹脂相溶性*	透明

※ 記載数値は参考値

*KG-115/JER828(三菱ケミカル)/2E4MZ(四国化成)=80/20/1

特徴:エポキシ基含有

用途:エポキシ接着剤改質剤

3. 各国法規対応表

PARACRON	日本	TSCA	中国	台湾	韓国
パンロンS-2012	○	×	×	○	×
AS-3000E	○	×	○	○	×
ME-2000	○	○	○	○	○
W-116.3	○	×	○	○	○
W-248E	○	×	×	○	×
W-197C	○	×	×	○	×
プレコート200	○	○	○	○	○
KG-115	○	×	○	○	○